

被災者生活支援（保健福祉部）

1 見守り・相談支援

避難所を退所され、市営住宅、応急仮設住宅、民間借り上げ住宅等に居住されている被災者のなかで、特に高齢者等の要配慮者の方に対し、被災前と異なった環境の中で安心して日常生活を営むことができるよう見守り、相談の支援を行う。

台風第19号に伴う市営住宅等入居者数（R2.1.22 現在 住宅政策課）

住宅	世帯	人数	入居期間
市営住宅	61	152	仮入居期間 原則3月（最長1年）
県応急仮設住宅	105	258	2020/6/30/まで
民間借上げ住宅	326	776	1年
県営住宅	30	61	仮入居期間 原則3月（最長1年）
県復興公営住宅	16	42	仮入居期間 原則3月（最長1年）
国家公務員住宅	6	16	2020/9/20まで
計	544	1,305	

■ 「郡山市台風第19号被災高齢者等把握事業」（地域包括ケア推進課）完了

- 避難所に避難されていた高齢者等の要配慮者に対し、介護支援専門員等の専門職による個別訪問等の見守り、相談支援
- 令和2年1月8日（水）～ 1月31日（金）
- 民間事業者へ委託により実施（国補助：10/10）
- 実績（1/30 現在）
 - 訪問 31 件 電話による聞取り 51 件
 - ・高齢者あんしんセンターの紹介 ・不安等の傾聴など

■ 郡山市台風第19号生活支援・地域ささえあいセンター（地域包括ケア推進課）新規

○台風第19号に伴う住宅被災により借り上げ住宅・公営住宅等に入居する被災者の生活再建等の相談支援及び入居高齢者等の要配慮者に対し、個別訪問等の見守り、相談支援

○令和2年2月3日（月）～3月31日（火） 平日 8:30～17:15

○市社会福祉協議会へ委託により実施

※東日本大震災に伴う応急仮設住宅等入居者の支援を行っている同協議会の「生活支援相談員」により、水害に伴う入居者も支援する。

■ 民生児童委員

- R2.1.7 開催の定例民生委員協議会連絡会（会長会）において見守り要請

■ 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）

- 応急仮設、民間借り上げ等に移動された方への継続支援

■ 介護サービス事業所

- 在宅サービスを提供する市内の介護サービス事業所（356 事業所）に対し、避難所から在宅に戻られた高齢者への適切なサービス提供について通知（R1.12.25 付け）

■ 相談支援事業所及び基幹相談支援センター

- 避難所に避難されていた障がい者の方（65 歳未満）30 名
 - ⇒ 28 名が自宅（施設、賃貸含む）、2 名が他市へ転居

- 相談員が自宅訪問（月 1～2 回程度）

■ 社会福祉協議会

- 令和 2 年 1 月 7 日（火）から生活支援相談員（震災）及び生活支援コーディネーター（協議体）による安否確認（電話、訪問）等を実施
- 避難所等からの移動支援（生活支援ボランティアセンター）を行った世帯を対象（1 月 31 日時点で対象世帯 14 世帯、活動実績：電話・訪問等 延べ 54 回）

2 各種支援制度の支給実績報告（R1.11.6～R2.1.29 現在）

■市災害見舞金、義援金、特別給付金（支給件数 3,820 件／申請書受理件数 4,020 件）

【全 壊】

支給件数：534 件／罹災証明書交付件数：649 件（82.3%）

※支給額（世帯）：（見舞金）10 万円＋2 万円／人（義援金）11.2 万円

【大規模半壊】

支給件数：728 件／罹災証明書交付件数：1,020 件（71.4%）

※支給額（世帯）：（見舞金）5 万円＋1 万円／人（義援金）5.6 万円

【半 壊】

支給件数：2,178 件／罹災証明書交付件数：3,083 件（70.6%）

※支給額（世帯）：（見舞金）5 万円＋1 万円／人（義援金）5.6 万円（特別給付金）10 万円

【床上浸水】

支給件数：3 件／罹災証明書交付件数：4 件（75.0%）

※支給額（世帯）：（見舞金）3 万円（義援金）2.8 万円（特別給付金）10 万円

【一部損壊（準半壊）】

支給件数：1 件／罹災証明書交付件数：2 件（50.0%）

※支給額（世帯）：（義援金）2.8 万円

【一部損壊（10%未満）】

支給件数：376 件／罹災証明書交付件数：1,954 件（19.2%）

※支給額（世帯）：（義援金）1.4 万円

■生活再建支援金（進達件数 1,082 件／申請書受理件数 1,348 件）

【全 壊】

進達件数：487 件／罹災証明書交付件数：649 件（75.0%）

※支給額（世帯）：（基礎）100 万円＋（加算）50 万円～200 万円

【大規模半壊】

進達件数：595 件／罹災証明書交付件数：1,020 件（58.3%）

※支給額（世帯）：（基礎）50 万円＋（加算）50 万円～200 万円

■災害援護資金貸付金

貸付決定件数：57 件

※貸付上限額：最大で 350 万円／世帯

3 義援金・支援金の状況報告（R1.10.17～R2.1.29 現在）

■義援金・支援金件数

○義援金件数 179 件 金額：45,284,799 円

○支援金件数 104 件 金額：42,648,285 円

（募集期間：令和元年 10 月 17 日～令和 2 年 3 月 31 日）

※義援金：生活支援や再建のため、被害の程度に応じて被災者に直接届ける。

※支援金：道路の補修など、郡山市が行う災害復旧事業の財源として活用する。

4 社会福祉協議会 生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付

（令和 2 年 1 月 30 日現在）

・貸付決定件数：40 件

・貸付決定金額：485 万円

実施主体：福島県社会福祉協議会（窓口 郡山市社会福祉協議会）
貸付対象：被災された方で当座の生活費を必要とする世帯
貸付限度額：原則 10 万円以内（4 人以上の世帯の場合等は最大 20 万円以内）
措置期間：1 年以内
償還期間：措置期間終了後 2 年以内
貸付利率：無利子（償還期間経過後は残元金に対し年 5.0%の延滞利子）

5 介護保険サービス利用者自己負担金の支払猶予

2019 年 10～11 月サービス利用分

【介護給付・介護予防給付】

	10 月利用分	11 月利用分	計
対象者数	192 名	196 名	388 名 (実数 227 名)
支払猶予額	2,314,943 円	3,171,062 円	累計 5,486,005 円

【総合事業分】

	10 月利用分	11 月利用分	計
対象者数	57 名	40 名	97 名 (実数 66 名)
支払猶予額	151,174 円	102,986 円	累計 254,160 円

※住家が床上浸水以上の被災者については、2019 年 10 月から 2020 年 3 月までの介護サービス利用分について、支払いを要しないこととしている。

6 障害福祉関係 自己負担金の支払猶予

■障害福祉サービス等の自己負担額の支払猶予

2019 年 10～11 月サービス利用分

【障害福祉サービス】

対象者無し

【障害児通所支援】

	10 月利用分	11 月利用分	計
対象者数	5 名	5 名	10 名
支払猶予額	15,852 円	18,400 円	累計 34,252 円

※住家が床上浸水以上の被災者については、2019 年 10 月から 2020 年 3 月までの障害福祉サービス等自己負担額について、支払いを要しないこととしている。

■日常生活用具給付等の自己負担額の支払猶予

2019 年 10～12 月申請分

	12 月申請分	計
対象者数	1 名	1 名
給付件数	5 件	5 件
支払猶予額	26,310 円	累計 26,310 円

※住家が床上浸水以上の被災者については、2019 年 10 月から 2020 年 3 月までの日常生活用具給付等自己負担額について、支払いを要しないこととしている。